



元氣な太刀振りを見せる児童

五穀豊穡願い「サンサンソレ！」

牛瀧町で5月27日、伝統行事「虫おくり」が行われ、地域の子もたちと保護者ら約150人が、五穀豊穡と交通安全を祈願しました。この地域では、一時途切れていた虫送りを平成元年に小学校の行事として復活させ、学校、PTA、地域が一体となり伝統を継承してきました。昨年以降は、旧牛瀧小の閉校により、牛瀧町内会（佐々木剛会長）が主体となって実施しています。この日は、トラックに乗せた虫を先頭に、参加者が太刀振りなどを披露しながら町内を縦断。沿道に集まった観衆からは、拍手と声援が送られていました。

運行を主管した牛瀧子ども会育成連合会の工藤改善会長は「地域のつながりを大切に、子どもたちの元気で伝統をつないでいきたい」と話していました。

生きがい求め学びを楽しむ

5月29日、松の館で長寿大学が開講しました。

長寿大学は、高齢者に必要な教養の習得と仲間づくりをすすめることを目的に、昭和49年からスタート。今年も5月から11月まで月一回、音楽や健康、笑いなどをテーマに学習します。

開講式では、学長である葛西教育長が各地区の代表者に学生証を手渡したあと、184人の受講生を代表して小山内兼一運営委員長が「生きがいを求めて学習し、年のことは忘れて大いに楽しみましょう」とあいさつしました。

式終了後の第1回学習会では、板柳町の山田三弦会による「三味線演奏会」を開催。受講者は「じょんから節」など迫力ある13曲を鑑賞し、教養を深めました。



学生証を受け取る小山内運営委員長



田植えを通じて交流する参加者

米軍人と田植え、交流に喜び

車力小学校（藤田敏幸校長）は6月6日、米陸軍車力通信所の軍人らを招き、5年生30人を含めた約60人が田植えを体験しました。田植え体験は旧富瀧小と旧牛瀧小で行っていましたが、車力小統合後は初めて。地域交流の促進を図る東北防衛局の働きかけにより再開することができました。

村上詩月さんは、「泥に入って気持ちよかった。去年はかかし作りも体験した。稲刈りが楽しみ」と話し、佐藤汰珠君は「言葉が違ったけど、握手したりコミュニケーションがとれることがわかった」と笑顔を見せていました。

両者は今後も、かかし作り（関連16ページ上段）、稲刈り、餅つきとコメ作りを通じて交流していきます。

みんなの力で商店街ににぎわいを

木造の千代町商店街で6月10日、毎年恒例の朝市が開幕しました。オープニングセレモニーでは、来賓らの祝辞のあと、長谷川靖久実行委員長の音頭で関係者一同が「がんばろう！」を三唱し、威勢よくスタートしました。

会場には旬の野菜や鮮魚、花などの産品がずらり。しじみ貝のすくいどりや、6月の目玉イベントであるマグロ解体即売会なども人気を集め、多くの市民らでにぎわっていました。毎回楽しみに来るといふ笹森ミツエさんは「活気があってみんなから元気をもらえる。今日はいいマグロとしじみを買えました」と満足げに話していました。

朝市は、10月まで毎月第2日曜日、6時半から開かれます。



好評のしじみ貝のすくいどり

車力通信所指揮官にダルーラ大尉が就任

Xバンドレーダーを管理している米陸軍車力通信所の指揮官交代式が6月4日、航空自衛隊車力分屯基地で行われ、デイヴィッド・チャベズ大尉に代わり、フランシス・ダルーラ大尉が新たな指揮官に着任しました。

6月11日、ダルーラ大尉らが福島市長を表敬訪問し、指揮官着任を報告しました。福島市長は「現在、基地と周辺地域は良好な関係にある。これからも地域住民が安心できるよう配慮してほしい」と伝えると、大尉は「兵士には、これまでどおり規律保持を指導していく。市のイベントや地域の活動にも積極的に参加して、皆さんとのコミュニケーションを大事にしたい」と答えていました。



指揮官着任を報告するダルーラ大尉



ありがとうを伝える園児

いつもありがとう 木造保育所園児が職場訪問

木造保育所（佐藤肇所長）の園児が6月13日、いつもお世話になっておる方々に感謝を伝えようと、市役所などに花を届けました。これは、キリスト教の行事である6月の第2日曜日「花の日」にちなんで毎年行っているもので、花束は園児らが家庭から持ち寄った花で作られています。

この日は、4歳児16人が讚美歌を合唱したあと「いつも私たちのために働いてくださってありがとうございます」と福島市長らに花束とメッセージボードを手渡しました。福島市長は「きれいなお花ありがとう。みんなが毎日楽しく過ごせるようにお仕事がんばります」とお礼を述べていました。

園児らは、警察署、郵便局、消防署へも訪問しました。

車力柔道少年団の二人が全国大会へ

車力柔道少年団の佐藤心美さん（車力小6年）と佐々木泰心君（同5年）が、6月10日の全小柔道大会県予選会個人戦で優勝し、8月に山口県で開催される全国大会への切符を手に入れました。佐藤さんは同少年団唯一の6年生で、チームのまとめ役として活躍。決勝では昨年敗れた相手に対し、持ち味の攻める柔道を貫いて見事勝利しました。佐々木君は、80kg超の恵まれた体格を生かし、激しい連戦を勝ち抜きました。なお、佐々木君は県選抜の団体戦メンバーとして、10月にも東京へ遠征します。

6月20日、2人は福島市長を表敬訪問。佐々木君は「1回でも多く勝つ」、佐藤さんは「県代表として礼儀正しく、一戦一戦大事に戦う」と抱負を語りました。



勝利を誓った佐藤さんと佐々木君。右は坂本豪世監督



校歌を歌う出席者ら

さらなる高みへ新たな一歩

柏中学校（石田陽一校長）で6月16日、創立70周年記念式典が行われ、在校生125人と関係者合わせて約200人が、伝統の継承とさらなる発展を誓いました。

同校は、昭和22年に柏第一中学校として創立。柏第二中学校との合併を経て、これまで6,074人の卒業生を輩出しています。

式典では石田校長が「伝統を受け継ぎ、新たな一歩を踏み出す。お世話になった方々には、学校を上げての精進と生徒の飛躍する姿で感謝の気持ちを発信していきたい」と式辞。生徒会長の吉田にこさん（3年）は「柏中の歴史の中に立っていることが大きな誇り。21世紀を担う世代として、胸を張ってがんばる」と誓いの言葉を述べました。